

# 防災おうめ 掲示板用

新生活が始まるタイミングは家具転対策をするタイミングです！

新生活の始まりに合わせて、引越しをする方や、模様替えを検討している方もいると思います。家具を動かすタイミングは、家具転対策（家具類の転倒・落下・移動防止対策）を行う絶好のタイミングです。地震はいつやってくるかわかりません。このタイミングで家具転対策を行い、地震に備えましょう。



### ◆どんな家具転対策があるの？

**【家具類の転倒・落下防止対策の例】**

ベルト式冷蔵庫は壁にベルトで固定する。

L型金具壁に強度が足りない場合は、壁を補強する。

つっぱり棒(ポール)

扉開放防止器具

粘着マットやベルトなどで電子レンジを固定するとともに、台も壁に固定する。

連結金具上下に分かれている家具は連結する。

ストップバー式

ガラス飛散防止フィルム

ストッパー式つっぱり棒を使用するときに併用する。

※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。  
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

### ◆家具転対策についてもっと知りたい

地震でケガをする原因の多くが「家具」によるもの

**家具転**

家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック

家具類の転倒・落下・移動防止

家具転対策ページ

## 救急車の適正利用にご協力を！

### 《救急車の適正な利用について》

東京消防庁における救急出場件数は、増加し続けており、令和元年中の救急出場件数は825,918件と過去最多の件数となり、今後さらに増え続けると予想されます。救急車が搬送した方のうち、入院を必要としない軽症だった方の割合は50%以上を占めており、このような状況が進むと、救急車の到着が遅れ、救えるはずの命が救えなくなる危険性が高まります。救急車は皆さんの医療資源であり、適正に利用していただくことが大切です。

### 《病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…「#7119」》

病院へ行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら…

# #7119

電話で相談 東京消防庁救急相談センター

ネットでガイド 東京都救急相談ガイド

こちらからもつながります

23区 03-3212-2323

多摩地区 042-521-2323

東京消防庁救急相談センター 東京都医師会 東京都福祉保健局



### 《救命講習を受けましょう》

尊い命を救うため、救命講習を受けたことのない方は救命講習を受講し、また、前回の講習修了後から2年以上（3年以内）経過されている方は再講習を受講して、応急手当に関する知識と技術を身につけましょう。

**心肺蘇生の手順**

1 声をかける

2 状況により応急手当のアドバイスが異なります

3 呼吸の確認

4 胸骨圧迫（人工呼吸）

5 AEDの活用

呼吸なし！ わからないときも！！

### 防火・防災に関するお問合せ

青梅消防署	青梅市師岡町3-2-5	☎0428-22-0119
日向和田出張所	青梅市日向和田2-309-1	☎0428-24-0119
長淵出張所	青梅市長淵3-203-3	☎0428-21-0119